

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】(ユニット1)

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 事業所番号, 法人名) and Value (e.g., 0190503334, 株式会社リビングプラットフォーム).

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 基本情報リンク先URL) and Value.

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 2 columns: Field Name (e.g., 評価機関名, 所在地) and Value (e.g., 企業組合グループ・ダイナミックス総合研究所 介保調査部).

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者が穏やかに安心して暮らしていけるよう、家庭的な雰囲気作りをしています。24時間オンコール体制で看護師、医療との連携を図り、体調管理を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は、2019年10月1日に札幌市豊平区的美園地区から現住所に新築移転したグループホームである。建物の構造は、全3階建てで1階と2階は同法人のグループホームで、3階は会議室と職員の休憩室がある。

V サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取組を自己点検した上で、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: Item No., Item Description, Group Achievement (self-check), and Group Achievement (evaluation). Rows 56-62 are visible.

## 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念を作り、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに掲示し、毎朝の朝礼で理念の唱和を行い、共有、実施に繋げている	経営理念やエリア行動理念、事業所理念などをスタッフルーム内に掲示している。唱和する際に見えるように大きく掲示するなど工夫しており、理念を職員間で共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ流行のため行えていなかったが、町内会長に運営推進会議の文章は郵送している	コロナ禍により町内会への加入が出来ていないが、定期的に運営推進会議の書面会議の内容を送付・意見交換を行い、地域との繋がりが途絶えないよう交流している。	コロナ禍により、町内会への加入や地域との相互交流が滞っているため、町内会への加入を機に地域とのつながりが深められるよう期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	移転後、コロナ流行の影響もあり行えていません		
4	3	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	アンケートなどで文章の参加のみになっている、包括支援センターに送付し情報共有を行っている	コロナ禍により書面での開催とし、町内会長、地域包括支援センター、利用者家族へ会議の内容を送付している。いただいたコメントは、次回の運営推進会議の議題とすることでサービス向上に活かすことができている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要に応じて、区、市に連絡し協力関係を築いている	市の担当者とは、毎月空き状況をメールで報告したり、介護サービスに関する情報をいただくようにしている。区の担当者とは、生活保護利用者の利用状況を報告するなど、協力関係を築くよう取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月内部研修として全職員に資料配布をし意見を出してもらうなど、周知を図っている施錠は行っているが、入居者様の希望、要望により、すぐに対応を行っている	毎月開催の内部研修にて各職員へ資料配布を行い、職員への意見交換を行っている。また、毎月身体拘束抑制廃止委員会を開催し、マニュアルや指針の整備を行うなど身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止の研修会を定期的に行い職員の学ぶ機会を持つことにより、虐待防止に務めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修にて職員に学ぶ機会を設けている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結時、解約時には前もって、ご本人様、ご家族様が不安、心配な点など、理解納得して頂けるよう、十分な説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からの日頃の会話、ご家族様からは、面会時、電話連絡、ご意見箱などにて頂いた、意見、要望などを会議の中で話し合い、運営に反映できるよう、職員間で情報の共有を行っている	玄関に意見箱を設置したり、毎月発行の広報誌にて利用者家族へ利用状況を報告し、面会や電話などで意見を聞き取っている。いただいた意見は、ユニット会議にて情報共有し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や3ヶ月に1度ペースでの面談を行い職員の意見や提案を聞き、意見を反映できるよう務めている	毎月開催の職員会議や、全職員対象に3ヶ月毎に個人面談を行い、職員からの意見を徴収している。また、面談時に自己評価も含め目標達成度を確認し昇給に反映するなど、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談、自己評価表などで個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給料水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心をもって働けるよう職場環境、条件の整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修、及び職員が様々な研修委員など分担している事により、研修機会や働きながらトレーニング出来るよう進めている又初任者研、実務者研修など受講できる体制を整えている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組をしている	社内の研修会などで事業所以外の職員と交流できるよう図っている		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始する段階より、ご本人様の希望要望、困っていることに耳を傾け安心して生活して頂けるよう関係づくりに、努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス開始する段階より、ご本人様の希望要望、困っていることに耳を傾け安心して生活して頂けるよう関係づくりに、務めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス開始する前段階より、ご家族様との面談を通して、「その時」必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が主体とならないよう、入居者様が出来る場所は見守りを行い、意向、要望を確認しながら、共同生活でのパートナーという関係を築いていけるよう支援している。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時間の制限はありますが、その時の状況に合わせて顔を話せる環境作り、又連絡事項など密に情報の交換を行いながら、共に本人を支えていく関係づくりを築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の制限はありますが、ご家族様との時間を作れるようにしています。馴染みの場所への支援も今後検討したい	コロナ禍のため、家族との面会は時間や場所、人数を制限して実施している。今後、馴染みの場所へ行けるよう外出レクも検討し、関係性が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりの関係性を把握し、見守りを行いながら、時には職員が間に入り、一人ひとりの入居者様が孤立せず、支えあえる支援に務めている。		
22		○関係を断ち切らない取組 サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も関係性を大切にしながら、本人、家族の経過をフォローし、相談や支援に務めている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプラン、アセスメント、日々の会話、様子観察等により、一人ひとりの思い、暮らしの希望、意向の確認を行っている意向の把握に努めている	日常生活の中で利用者との会話から思いや意向を確認し、その内容を介護計画に反映させている。困難な方は、家族に電話をして聞き取りをし、本人本位に検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様の慣れ親しんだ生活が出来るよう生活歴、馴染みの暮らし方、生活環境の把握務めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の様子観察、援助を行っている中でご本人の心身状態、有する力など、現状の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様、ご家族様との話し合い、ケア会議などで、アセスメントをしっかり行い、主治医、看護師、歯科など等の意見を伺いながら、本人の現状に即した介護計画を作成している、	日常の業務内でモニタリングを実施し、毎月のユニット会議で検討している。その内容を計画作成者が取りまとめ、介護計画の作成を行っている。介護計画は、家族へ開示し同意を得ており、現状に即した介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の状態を記録に残し、状態変化を早期に気が付けるよう職員間で情報の共有を行い実践や介護計画の見直しに活用している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々のニーズに対応できるよう、訪問マッサージ、訪問美容など、個々に合わせたサービスを利用している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	買い物など一緒に行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	メインの医療機関は訪問診療に切り替えているが、以前利用していた専門医などは受診できるよう、適切な医療を受けられるよう支援している	契約時にかかりつけ医の説明をし、本人及び家族の希望を大切にしながら同意を得ている。他科受診が必要な方は、状況に応じて、事業所側も送迎を行い、適切な医療が受けられるように支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日常のかかわりの中で、とらえた情報は訪問看護師に伝え、相談、報告を行い医療と連携を図り、利用者様が適切な看護、支援を受けられるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている、又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医療機関は入院施設もあり、24時間対応可能となっている、状態により主治医からご家族様へお話しする時間を設けている、又出来るだけ早期に退院できるよう、医療機関との情報共有、連携を図っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者とともにチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期のあり方など早い段階からご本人、ご家族様話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明し、方針を共有している。状況により主治医と話す時間を設けている	契約時に終末期にあり方についての意向を確認している。また、重度化した際には、改めてかかりつけ医と共にご家族の意向を確認している。事業所側ができることを説明し、かかりつけ医と相談するなどしてチームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に事故防止、緊急時の対応等の研修を行い、落ち着いて対応が行えるようにしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	移転してからの環境での訓練は少ない為訓練の度に環境にあった方法の見直しを行うことに重点を置き行っている、地域との協力体制は今後予定している	日中・夜間想定で年2回の火災訓練及び地震災害訓練を実施している。また、開催月の前月には災害対策委員会にてマニュアルの整備を行なっている。	町内会への加入を含めた地域との協力体制を構築及び、事業所に即したBCPの作成、作成されたBCPIに基づいた避難訓練が実践できるよう期待したい。
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	生活歴から個人の性格等を意識し、人格を尊重し、プライバシーに配慮した声掛けを行っている	日々の業務の中で、一人ひとりの人格を尊重した言葉かけができていないか、都度職員同士で確認するようにし、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で本人の思いや希望を表現でき、自己決定が行えるよう、声掛け、見守り等日々働きかけを行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	一人ひとりのペースを大切に、希望や要望に沿った支援を行っている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時には本人の好みの洋服を着れるよう又訪問美容の支援とで、その人らしい身だしなみ、おしゃれが楽しめるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	近所のスーパーで入居使用者様と買い物に出かけ食べたいものを選んで頂く、食事や後片付けテーブル拭きなど職員と一緒にしている	利用者の食べたいものを聞き取り、近くのスーパーに買い出しに行き、希望を反映させている。可能な方には、一緒に調理をしたり食器洗い、食器拭きなどをして、一人ひとりの好みや力を活用しながら運営されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者を利用し、栄養管理を行っている 食事形態などは、本人の状態に合わせて提供を行っている。又水分量が確保できるように記録に残し、不足しないよう務めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い口腔内の清潔を保っている。状態に合わせて、訪問歯科、衛生士により情報共有、指導など頂いている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレで排泄出来る方は必ずトイレを利用して頂きm排泄チェック表を確認し、誘導、介助を行い、自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表で個人の排泄パターンを確認し、トイレで排泄できるよう対応している。ベッド上でのおむつ交換をしている方もいるが、可能な限りトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らないよう、食事、水分、運動、体操など行っている又排泄チェック表を確認し、医療と連携を図りながら、個々に応じた便秘の予防対策に取り組んでいる		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に沿った支援をしている	希望の時間に添えないこともあるが、入浴を楽しんで頂けるよう、準備段階から関わりを持ち入浴剤を選んで頂いている又その時の入居者様の気分により、入浴日の変更など、個々に沿った支援を行っている	日曜日以外を入浴日としているが、利用者の希望や状況によって臨機応変に対応している。入浴剤を使用したり、機械浴での入浴も可能なため、個々に沿った支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調、その時々状態に沿って、適時に休息を時間を設けている、昼夜逆転しないよう配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬内容、副作用など職員間で把握し服薬支援、症状の変化の把握に務めている。又服薬チェック表を使用、ダブルチェックを行い安全に服薬できるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの生活歴、日々の状態観察などで力を活かした役割や、レクレーションなど、職員間で情報の共有を行いながら、日々楽しみながら意欲的に生活が遅れるよう支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物に行きたい方に関しては、近所のスーパー同行するなど現在の状況でも行える支援は積極的に行っている	コロナ禍により外出の頻度は近くのスーパーへ買い物に行くことくらいだったが、事業所の空きスペースに花を植えたり野菜を栽培して楽しんでもらい、気分転換が図れるようにしている。次年度は多くの外出行事ができるように計画している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは預かっていないが、買い物同行などで金銭を使用できるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時に随時対応を行っている		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースでは混乱を招かないよう、刺激がないよう配慮している。又リビングには季節が感じられるよう飾り付けを行い、居心地よく過ごせるよう工夫を行っている	ユニット玄関やリビングなどの共用空間は、静かで落ち着いた雰囲気となっており、利用者一人ひとりが穏やかに過ごせるような環境を整備している。リビングには季節の飾り付けを行い、利用者が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	職員間で情報共有を行い、性格、行動を配慮気の合った入居者様同士が楽しく過ごせるよう座席の工夫を行っている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にはなじみのものを持ち込んでいただき本人が居心地よく過ごせるよう、工夫している	利用者ごとに馴染みのある家具や備品を持ち込んでいただき、個々に落ち着ける居室空間作りをされている。清掃も行き届いており、利用者本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの状態を把握し、目印や、働きかけなどで、出来ることわかることが活かせ、自立した生活が遅れるよう工夫している		